

## 令和3年度第2回行政評価委員会（しごと部会）会議録

### 1 開催日時

令和3年8月4日（水） 午後1時30分～午後3時35分

### 2 開催場所

生涯学園都市会館 3階 第2・3中ホール

### 3 出席者

#### (1) 委員 6名

影山一男委員（部会長）、高橋徳好委員、高橋誠委員、高橋カヨ子委員、久保田廣美委員、佐藤有莉委員

#### (2) 説明者（施策主管課及び関係課） 1名

商工労政課：久保田謙一課長

#### (3) 事務局（施策及び事務事業担当課）

秘書政策課企画調整係：吉田真彦主査、澤田宇利主査

財政課経営財務係：阿部ゆうみ主査

### 4 議題及び報告事項

市が実施した施策評価のうち、花巻市行政評価委員会の評価対象施策である「企業誘致の推進」について評価を行った。

#### (1) 施策主管課による説明、質疑応答

#### (2) 委員会の評価結果集約

### 5 議事録

#### (1) 施策主管課による説明、質疑応答【主な意見・質疑等】

（高橋徳好委員） 1つ目に産業団地の整備の進捗状況、2つ目に民間のデベロッパーについて、花巻以外のところへの話しが多いが、その理由について教えていただきたい。

（久保田謙一商工労政課長） 1つ目、整備の状況について、最終的には令和7年の分譲開始と考えている。ただ、先ほど申し上げたとおり、花南地区ということでは話しはしているが、現在調査をしている段階であり、今後の予定では、来週早々に地権者の方に詳細をお話することとしている。これについては、4月に一度調査をさせてほしいと説明しており、それに引き続いて現状を加えながら説明をする予定であり、令和7年の分譲開始に向けて進んでいる状況である。

2つ目、民間のデベロッパーにつきまして、花巻への話しが出ないということについては、明確に把握しているわけではないが、花巻は、開発しようとするとき必ず農地に当たってしまうというのが実情であり、良い土地があったとしても、そこが工業用地ではなくて、農地であり開発のハードルが高いという状況であることは聞いている。そのような理由から、開発をしづらいという実情はあるものと捉えてい

る。

(高橋徳好委員) そのとおりだと思うが、農地転用について具体的に何か対策はあるのか。去年も私が案内したのが何か所かあるが、花巻は、厳しいということから始まってしまい非常に残念だと思っている。花巻に本社を構える会社として、花巻の開発が進めばいいいつも思っているが、スピードが必要だと感じる。デベロッパーは、設備投資の回収期間をかなり短く設定する。そこがネックとなると思う。その辺りをどうスピードアップさせていくかというところが大事だと感じる。ロケーション的には、他市町村に比べて遜色ないと思う。インフラ整備、特に交通網については、アドバンテージは相当あるはずだが、なぜ新規企業が立地されないのかというと、そのスピードの部分だと思う。具体的にどうスピードアップさせるかについて、今進めていることはあるのか。

(久保田謙一商工労政課長) 花巻は非常にロケーションが良い。高速交通網の要衝であることから、物流の企業から見れば非常に魅力があるほか、スマートインターもできるため、興味を持っている企業はおそらくあると思う。ただ、スマートインターの周りも農地であり、何かを実施するにも必ず農地にぶつかってしまう。農地を開発する場合、農林水産省や県の農政関係との協議も必要となるため非常に時間がかかるが、民間が進める場合、市よりも早く進められるのではないかと期待している部分もある。全国的にも民間が産業用地を開発する例はあるので、市でもこれから民間がどのような形であれば開発を進めていけるのかという研究が必要になる。官だけではなく、官民挙げて産業用地の開発がやっていけないか検討していきたい。北上市や金ケ崎町と比べられる点はあるが、花巻市の基幹産業は農業であることから、非常に難しいというのは承知しているものの、その中でも最善の方法で企業誘致を進めていきたいと考えている。

(久保田廣美委員) 産業団地の分譲率について、分譲率95.1%と分譲率が僅少であるという書き方をしているが、実際に面積としては、どの程度残っているのか。

また、二枚橋地区の分譲について、開発面積の全てが分譲ということではなく、公共用地等の部分を残して分譲完了となっているのか。

(久保田謙一商工労政課長) まず残りの面積については、第一工業団地テクノパークに区画で約7,900平米、第二工業団地は3区画83,251平米。二枚橋は、整備の概要としては、平成28年から計画をしたものであり、整備面積44,138平米のうち分譲した面積が27,449平米。残りは公共用地であり、今後の分譲予定はない。

(高橋徳好委員) 今後の企業誘致に関して、どのような業種を狙っているのか。例えば、花巻は、インフラの中でも交通インフラに関してはかなりアドバンテージがある。そこからすると物流センターは、絶好の場所である。

ただ、一方で例えば半導体となると、水の供給も必要となる。それから、広義の意味で、ITの供給体制というものもあると思うので、どのような業種でもいいとはならないと思う。

(久保田謙一商工労政課長) 一番理想なのは製造業。その中で力を入れているのは、やはり半導体と自動車関連企業であるが、実情からすると、これらの企業に関連する企業が来ていただけるのが理想と考えるが、思うように進んでいない。

また、物流関連については、花巻市は交通の要衝であり、非常にメリットがあると認識している。ただ、表立ってそれを中心に、こういった企業を誘致しますというコンセプトはなく、どの業種、企業という形では掲げていない。

(影山部会長) 花巻市の企業誘致について、今後、半導体や自動車関連の誘致を進めていくとあるが、現在の誘致実績の中で半導体や自動車関連の企業誘致の割合はどのくらいなのか。

(久保田謙一商工労政課長) 自動車関連については、一番表立って自動車産業としてやっている企業は、ないかもしれない。事業の一部として、自動車に関連する部品に携わっている企業はあるかもしれないが、半導体や自動車関連企業の誘致の割合については次回の部会で報告させていただく。

(影山部会長) 半導体は、非常に小さいものを扱う。そう考えると工業団地ではなく、市内の空き店舗でも可能かもしれない。また、空き地を利用する場合も、これまでの工業団地は、大規模な製造業をイメージするが、半導体の関連産業だと大きな土地が必要でないかもしれない。また、コンビニであった空き店舗等に関連会社が出来ているケースもある。そのため、工業団地だけではなく、花巻の中心街の空き店舗等を利用し、そこに部品を扱う企業の誘致は出来ないのだろうかと思う。

また、あと10年、20年を見据えた長期的な戦略が見られない。半導体や電気、電子だけではなく長い目で見たときに、何が視野に入ってくるのかを考えて進めていくような視点がほしいと感じた。

もう一つ、雇用を増やすという面でキオクシア岩手㈱を見ると、北上で今年、技術系は45名、事務系は5名の合計50名を雇用としている。しかし、全国から募集しており、大きな誘致企業が来ても市内の雇用は増えないのではないかと思う。そうすると、誘致企業からの雇用の拡大は、あまり期待出来ないと感じる。

これまで、花巻市で誘致してきた企業でどのくらい雇用が増えたのか。

(久保田謙一商工労政課長) 具体的な統計はとっていないが、誘致した企業においてどのくらい採用したか、出入りはあるにしても積み重ねはあると思う。誘致企業が市内に立地いただく場合の奨励金の交付要件として、何人以上新規雇用を行うという条件があるが、大きい企業が来る例が近年はないため、他市のように雇用が一気に増えるというのではないと思う。

(影山部会長) 事業説明資料で新規雇用数についての数字が出ているので、どれだけ今後増えていくのかというのは把握できると思う。そういう数字も今後、資料に載せていただければと思う。

(高橋カヨ子委員) 花巻には、産業団地がスマートインターを含めて3つある。二枚橋は、東側に工業団地の土地が開けておりインターを利用する。そして、今度できるスマートインターについても東側の開発が進んでいくのではないかと思われ、土地の調査をする説明は分かる。花巻南インターは西側を向いているが、その開発について、豊沢川もあり遊休の土地も多いため、水を多く使う企業の誘致に向くという印象がある。湯本、太田、笹間の開発について、検討はしているのか。

(久保田謙一商工労政課長) 花巻南インター付近は、たしかに開けており、耕作放棄地もあると思うが、農地という点がネックとなっており、開発が難しい状況で

ある。また、湯本、太田、笹間を考えた場合、悪いというわけではないが、花巻市へ企業を誘致する強みを考えたとき、高速道路のインターの近傍であることがアピールポイントであり、そこから考えれば、どうしても優先的に開発することが難しいと考える。

(佐藤有莉委員) 花巻市には農地が多くあるという説明があったが、半導体や自動車産業を力に入れ、企業を誘致し農地を開発して建てることに矛盾を感じた。

また、施策の目指す姿の実現に向けた主な取組の中で、「市内の空き工場や空き地の情報を収集するとともに専用ホームページへの掲載PRに努めた。」と記載があるが、その結果について聞きたい。

(久保田謙一商工労政課長) 市内の空き工場についての問い合わせは、県内外からある。しかし、実際にそこを紹介すると企業の要望に合致しないことが多い。市としても企業からの照会を受け、同行や紹介などの対応を行っているがなかなか決まらない。

次に農地がたくさんあるのに開発し、半導体、自動車関連を誘致することは、矛盾しないかということについては、当市には、農地を守る農業分野の立場と、開発をして企業を誘致する商工業分野の両方の立場があり、内部でも調整が必要な部分がある。ただし、企業を誘致する立場としては、自動車産業や半導体のように今後、成長が見込まれる産業に市として力を入れたい。農地とのバランスは、当然必要であるが、そうは言っても誘致を行う土地がないので、場合によっては農地を転用する必要性もある。そのため、民間の力も必要ではないかという話が出ている。あくまでもバランスをとりながら、開発をしていくものと捉えている。

(高橋誠委員) 例えばドローンを扱う会社やビジネスインキュベータから出たベンチャー等、小さい会社の起業については別の施策となるのか。インキュベータ施設を卒業し、市内に事業所を持って、活躍しているような事例は、今回の施策項目には入ってこないのか。

(久保田謙一商工労政課長) 施策の項目の中に含まれている。新しい制度として、インキュベーション施設を卒業した企業を支援する補助金制度がある。これについては、去年度は、当該施設を卒業して、花巻市内に立地をした企業はないので実績がないが、項目としては載せている。実績があれば、来年度以降評価シートに載せることとなる。今回は、反映状況には載せているが実績がなかったもの。

(高橋誠委員) 市政や国策をにらんだ半導体や自動車関連と、そういった大規模な誘致以外に八幡平のようなプログラム教室もすごく宣伝しているが、やはり小さい事業体をどれだけ育てて、可能性を与えるかということと両建てだと思う。そのような事業者が市内にどのように事務所を構えるか、空き工場や空き事務所をどれだけ紹介できるかも大事だと思うので、頑張っていたきたい。

(影山部会長) 花巻は、農地があるということで、食品加工産業等の日本の食品を輸出していくのが政府の方針でもあるので、そういった食品加工・製造の誘致を長期的に考えてもいいと思う。花巻は物流が非常に良く、太平洋や日本海側にも繋がっており、花巻空港があるので東京圏だけでなく、中京圏にも繋がっていくのも良いと思う。ここに東海圏の話が出てきているが、自動車産業は、東海圏が主流に

なると思うので、より密に、やっていただければと思う。

## (2) 委員会の評価結果の集約【施策評価検証シートの整理】

### ● 「前年度の振り返り」の「反映状況」について

(高橋徳好委員) 分譲可能な用地がないのに、誘致をするというのが成果指標の設定として間違っていると思う。誘致を進めても立地する場所がないので、誘致企業による評価のしようがないと思う。

(影山一男部会長) 先ほどのヒアリングでも出てきたが、産業団地については農地転用がハードルになると話があったが、これについては昔からあったものだと思う。新たな産業団地の整備を計画しても農地が問題となるのはわかっているが、それに対する対策がなされていないと感じる。花南地区への新たな整備が求められていると記載はあるが、分譲予定が令和7年では遅く感じる。

(高橋徳好委員) 半導体には純水や電力の供給体制がないと実現しない。半導体を誘致するとなるとそれらの経費も必要となる。

(影山一男部会長) ターゲットとして半導体や自動車関連企業とする場合、土地だけでない問題もある。それらを踏まえて産業団地の整備を進めていく必要があるのではないかと。

(高橋カヨ子委員) 花南地区の調査と書いてあるが、そのみであり他の候補地の情報がない。

(高橋誠委員) これについては、4番の話だと思うので、まず前年度評価の振り返りに関しては、必要な言葉がないという内容でよいのではないかと。

(影山一男部会長) ここについては、チェックは行っているが、十分な必要な見直しがされていない。土地だけの問題だけではなく、産業インフラの整備や、純水、電力の供給、物流体制等の見直しが不十分ということでまとめる。

### ● 「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について

(影山一男部会長) 先方の希望条件に合致しなかったとあるが、土地なのか空き物件なのか、それとも地理的条件なのか、この3つのどれが一番重要だったのかについて書いていただきたい。それがないと、今後どうすればいいかの対策が立てられない。

(高橋誠委員) 今回の評価は、令和2年度の記録である。新型コロナの影響というのは、半分本当であり、パートの人の動きとかを見ていると去年の11、12月ぐらいまでは、自動車や半導体も雇い止めになって自宅待機の人たちも相当数いた。この時期の状況は、歴史に残るといえるか花巻市政に残るものであると、きちんと記載してほしい。その上で、去年のムードとして設備投資が停滞してしまった。でも今年以降どう生かすか。また、設備投資をしている企業は投資をしているので、その辺を見極めるためにも、もう少し書き込んでいただきたいと思う。

(影山一男部会長) 分析的には確に行われているが、もう少し具体的に書き込んでほしいということでまとめる。

● 「4 施策を構成する事務事業の検証」について

(影山一男部会長) 誘致のための支援、補助金のお金の面についてそれを中心に行っているのはいいと思うが、それ以外、産業インフラの整備が必要ではないか、企業がなぜ来ないのかについての検証がない。

(高橋徳好委員) 用地取得の動きはあるのに、なぜ花巻だけ企業立地が進まないのかの検証が必要だと思う。

(高橋カヨ子委員) 花南地区以外での用地の開発や調査について、もう少し情報がほしい。

(影山一男部会長) 施策を構成する事業は実施しているが、もう少し必要なものもあるのではないかと記載を検討します。

(高橋誠委員) 新たに取り組むべき事業はないかの部分に記載はあるが、もう少し掘り下げた記載が必要ではないか。今日の土地がないなら始まらないことやニーズがわからないのであれば何も進まないのではないかという話しは、逆に言えば、ニーズを知り、土地を確保するためにはどうしたらいいかという話しだと思う。それについては今年、来年とこつこつとやっていくプロセスとして積み上げていく事業だと思う。この新たに取り組むべき事業はないかという項目には、産業団地の整備や優遇制度の検討を引き続き行うと書いているが、具体的な記載を求めているのかなと感じる。

(影山一男部会長) 新たに取り組むべき事業にももう少し具体的な記載を入れた方がいいのではないかと内容を検証シートに記載する。

(久保田廣美委員) さまざまな企業から引き合いがあると話があった。それに関して、半導体、自動車関連企業の誘致の取組を重点的にしていくと記載があるが、それ以外の業種の企業については、花巻に土地があつたら来たいという意識はあるのか。

(高橋徳好委員) 物流センターの引き合いはあるが、花巻はいろいろ理由があり案内できない。金融機関からの話もある。

(久保田廣美委員) そうした場合、半導体や自動車関連に絞り、特化して進めることが引かかる。それ以外の業種についても検討が必要であると思う。

(高橋徳好委員) 実際問題、半導体と自動車関連企業の誘致は無理である。

(久保田廣美委員) 既存企業が下請のような形で部品を製造しているのはあるが新規に呼ぶのとなると難しいと感じる。そのため半導体や自動車関連に特化することに少しひっかかった。

(高橋徳好委員) 当社でも全体で受けるが、宿泊施設等、さまざまなものが必要である。それより、特性を生かして誘致したほうが結果がでると思う。

(影山一男部会長) 特性を活かして誘致することについてもシートに記載する。

● 「5 施策の総合的な評価」について

(影山一男部会長) 今後の方向性として、半導体や自動車産業をターゲットにするところがあるが、これに関しては、やはり方向性として、長期的な視点に立って、花巻の地理的な優位性や農業関連、少なくとも農産物輸出に関連する食品加工業、観光

産業もある。これらの花巻の利点を生かした産業もターゲットに、企業誘致を検討していくのも必要ではないか。

(高橋徳好委員) 交通インフラは非常に優れているので、ニーズはやはり物流センターである。花巻に立地すれば輸送コストを払うのが一番安くなるから、という理由で物流センターの立地が多い。それであれば、それを進めたほうが良い気がする。

(影山一男部会長) そのような産業について視野に入れた方が良いのではないかとこの点については言ったほうが良いと思う。

#### ● シート記載内容全般について

(高橋誠委員) 企業誘致について市民目線からすれば、問題はいっぱいあるので、その問題点を具体的に書いて欲しい。そうでないとそれを目にする人が専門家以外にはよく分からないでしまう。

(影山一男部会長) 例えば、課題のところ、市の産業団地は、ほぼ完売しておりと書いてあるが、もう少し具体的に、産業団地の状況について記載した上で、残りの分譲地はどれくらいであるので、新しい産業団地が必要という点。花巻に誘致したいという企業からすれば、どういった理由で新しいところを整備すれば来るのかという点。そういった部分を記載していただきたい。当事者は知っているはずだが、市民はわからない。どの工業団地が完売して、残っているのはどのくらいだとか。また、どういう産業がこれまで来ているのか等の記載がほしい。企業の数だけの記載では足りない。半導体や自動車産業をターゲットにした結果、実績はどれだけか。来た数だけではなく具体的な産業名等が必要である。

#### ● 検証シートの記載について

(影山一男部会長) 「◎前年度評価の振り返り」については、チェックは十分されているが、見直しが必ずしも十分ではない。例えば土地以外の産業インフラ等、とりわけ半導体の産業を維持するのに必要な産業インフラの見直しが不十分である点を記載する。

「成果指標の達成状況」については、的確に行われているが、具体的にもう少し書き込んでほしいということをもとめたい。

「4 施策を構成する事務事業の検証」については、的確に行われているが新たに取り組むべき事業に関して必ずしも十分ではない。ニーズが明らかにされていない等、様々な意見があったので、それをまとめていきたい。

「5 施策の総合的な評価」については、的確に行われているが、やはり、今後の方向性として、半導体や自動車産業にのみをターゲットとして考えていいのかという点を記載する。また、長期的な視点だと地理的な要因、コスト要因として交通インフラは大きいと思うので、この点も整理の上記載する。

「シート記載内容全般」については、現状と課題がかなり淡泊過ぎるのでもう少し書き込んでほしい。市民目線からすれば、記載が足りないのではないかと等について、まとめていきたいと思う。

次回の委員会において、検証シートを確認していただき意見を頂戴したいと思うので、よろしく願いしたい。